

コスト高で製造業の流出加速

グリーン水素の二重オークション
カナダも助成資金拠出へ

インフレ調整金を被用者の8割が受給

＜統計＞

ドイツで開催される主な国際見本市 2024年第2四半期

* PDFファイルでご覧の方は左のパレットの「しおり」を開き、見たいタイトルを選択して下さい。

■ 注意 ■

1. 弊社との契約でご指定になった住所の事業所及びEメールアドレス以外に本誌を配布・転送することを固く禁止いたします。
2. 本誌のご利用によって生じたトラブル・損失・損害に関し、当社は一切の責任を負いません。

FBC Business Consulting GmbH August-Schanz-Str.8 , 60433 Frankfurt/M. (Germany)
Tel : 069-5480950, Fax : 069-54809525, E-mail : fbc@fbc.de, <https://www.fbc.de>

Rechtsform: GmbH Sitz: Frankfurt am Main HRB 44664 Geschäftsführer: Susumu Fujita



総合

コスト高で製造業の流出加速、産業立地競争力の低下に危機感.....	4
グリーン水素の二重オークション、カナダも助成資金拠出へ.....	5
緊急時のガス融通で独伊スイスが協定.....	5
AI包括的規制案を欧州議会が可決、EU加盟国の承認を経て正式成立へ.....	6
EUが「重要原材料法案」で最終合意.....	6
卸売物価11カ月連続低下、2月は前年同月比-3%に.....	7



土屋伸爾
余白一滴

15日付の日本経済新聞に掲載された作家・小池真理子さんの短いエッセー「携帯あろうがなかろうが」を読んで思わずうなずいてしまった。

4年前に亡くなった夫の仕事場の固定電話を解約するふんぎりがつかないでいるとの書き出しに続いて、固定電話が無用の長物と化している現代の状況に言及。そのうえで携帯がなかった少し前までの時代に取り立てて不自由はなかったことを指摘し、

固定電話や公衆電話を使って生活していた。改札口などで待ち合わせをし、互いに連絡がとれない時は、駅の伝言板を使った。「先に行ってます。ヒ

ロシ」だの「頭きた。もう帰る。レイコ」だの、黒板に書かれた白いチョークの文字に、それぞれの人生が垣間見えて面白かった

と往年の風俗を振り返る。一定年齢以上の読者は懐かしいと感じるだろう。一方、それよりも若い世代にとっては想像できないのではなかろうか。都内の学校で教員をしている友人から、「待ち合わせの時にケータイなしでどうやっていたんですか」と生徒に質問されたと聞いたことがある。

便利な時代になったと思う。ネット社会が形成されていなければ、二十数年途絶えていたこの友人との交友を復活させることもできなかったし、知りたいことをすぐに調べたり、日本で起きていることをリアルタイムで知ることが不可能だったはずである。

その一方で、アジールとも言

える自己の自由な生活領域が放射線のように目に見えない力の作用でいつの間にか侵食されているようにも感じる。例えば、週末にだらだらとネットサーフィンをしていて、気がつけば数時間が過ぎていたということは少なくない。そうした時間の過ごし方は充実感や心のリフレッシュにはつながらない。眼の慢性疲労も一段と悪化する。

良く知られているように、写真が日本に入ってきた幕末から明治初期にかけて、撮影されると魂を取られるとの迷信が広がった。情報通信機器の場合は注意しないと本当にそうになってしまうような気がする（テレビも同じ）。

今回取り上げた小池さんのエッセーは含みの豊かな名文である。うまく膨らませれば物語になる。起承転結も美しい。多くの人に是非、読んでもらいたいと思う。

企業情報

エーオン（エネルギー）—エネ輸送網強化、今後5年で340億ユーロ投資—	8
パナソニック（電機）—欧州ヒートポンプ事業強化へ—	8
SEFE（エネルギー）—UAEから低炭素LNG輸入へ—	9
自然電力（エネルギー）—独社との合併2社を完全子会社化—	9
フォルクスワーゲン（自動車）—2万ユーロのBEV投入を近く最終決定—	10
フォルクスワーゲン（自動車）—13カ月ぶり販売減に、中国の春節響く—	10
BMW（自動車）—23年純益、反動で35%減少—	11
ダイムラー・バスズ（自動車）—収益力強化でDX・GX資金確保へ—	11
ベバスト（自動車部品）—大規模な人員削減へ—	11
ティッセンクルップ（複合企業）—軍用船子会社を投資会社に売却か—	12
三井化学（化学）—独社と撥水コーティング用プリンターを共同開発—	12
ヴォノヴィア（不動産）—純赤字10倍に拡大—	12
スポーツシェック（小売）—伊チサルファが買収—	13

経済・産業情報

インフレ調整金を被用者の8割が受給、平均2761ユーロ	14
23年のCO2排出量10%減少、30年目標達成に大きく前進	15
多孔質岩石層への水素貯蔵プロジェクト、第1フェーズで素材腐食などの問題なし	15
化学業界23年第4四半期も低調、コストの川下転嫁は難しく	16
インフィニオンが中国社を提訴、GaN技術の特許侵害で差し止め請求	17
電機業界の景況感3カ月連続改善、新規受注高は7カ月連続で減少	17

目で見えるドイツの経済・社会

ドイツで開催される主な国際見本市 2024年第2四半期	18
-----------------------------	----

為替・株価・原油

2024年3月6日～19日	22
---------------	----

ゲシェフトフューラーの豆知識

事業所委の会議、事前警告による参加妨害は違法	7
------------------------	---

FBCでは、読者の皆様と一緒に誌面作りに取組みたいと考えております
お気づきの点や率直なご意見・ご感想など弊社カスタマーサポートまでぜひお気軽にお寄せください

FBC Business Consulting GmbH
address : August-Schanz-Str.8 , 60433, Frankfurt/M, Germany
tel : +49-(0)69-5480950
e-mail: info@fbc.de
<http://www.fbc.de>

総合

コスト高で製造業の流出加速
産業立地競争力の低下に危機感

ドイツのコスト高を嫌って国外投資を拡大する企業が急速に増えていることが、独商工会議所連合会(DIHK)のアンケート調査で分かった。そうした投資は国内での生産と雇用の縮小につながるケースが多く、この傾向が続けば同国の産業競争力は低下する懸念がある。イルヤ・ノートナーゲル理事は「ドイツは産業立地として再び魅力的ならなければならない」と述べ、高コストの原因であるエネルギー、税・社会保険料負担、煩雑な規制・行政手続きなどの改善を政府に促した。

今回の調査結果は会員企業を対象に実施した年初アンケートの一部。国外事業を展開するメーカーおよそ 1,900 社の回答に分析を加えている。

それによると、国外投資を計画する企業の割合は前年を 1 ポイント上回る 42%となり、2年ぶりに増加した。ただ、同割合は2017年の49%をピークに減少傾向にあり、今年の

数値が高いわけではない。むしろ過年度の平均を下回っている。

国外投資計画の割合が最も高い部門は投資財で 50%に上った。中間財と消費財はともに 39%。消費財は前年 (33%) を 6 ポイント上回った。

ドイツの 4 大産業では自動車で同割合と増加幅がともに最も大きく、8 ポイント増の 65%に拡大し

た。機械は 4 ポイント増の 52%、電機は 1 ポイント増の 52%、化学は 1 ポイント減の 48%だった。

国外投資の目的では販売・顧客サービスが 37%で、これまでに引き続き最も多かった。ただ、前年に比べ 1 ポイント減少。前々年からは 11 ポイントも落ち込んだ。

コスト削減目的の国外投資は 35%となり、リーマンショックに伴う金融・経済危機のさなかにあった 08 年以来の高水準に達した。同回答の割合は 13 年の 20%を底に上昇基調が続いている。特に過去 2 年間は増加幅が大きく、23 年は前年を 6 ポイント上回る 32%に上昇。24 年はさらに 3 ポイント高くなった。22 年 2 月に始まったロシアのウクライナ侵略以降、エネルギー価格が高騰・高止まりしたことは主な理由の 1 つとみられる。

部門別では消費財で 41%、中間財で 40%と数値が高い。中間財には国内の天然ガス・電力価格高騰の直撃を受けるエネルギー集約型産業が多いという事情がある。4 大産業では自動車が 46%とダントツで高く、電機は 33%、化学は 30%、機械は 25%だった。

新規市場を開拓するために国外投資を行うとの回答は 28%で、前年を 2 ポイント下回った。同投資では国外に生産拠点を設けることが主な活動となることから資金力が必要で、従業員数 1,000 人以上の企業では 43%と多く、200 人未満の企業では 17%と少ない。

国内投資・雇用は縮小

一方、国内投資の拡大を計画する企業の割合から縮小する企業の割合を引いた数(DI)はマイナス 11 ポイントとなり、前年のプラス 3 ポイントから 14 ポイントも悪化した。直近のピークである 22 年 (プラス 23 ポイント) からの下落幅は 34 ポイントに上る。

コスト削減目的で国外投資を計画する企業では同 DI がマイナス 24 ポイントに達した。新規市場開拓目的の国外投資を計画する企業ではプラスマイナス 0 ポイント、販

売・顧客サービスのための国外投資を計画する企業でもマイナス 6 ポイントとなっており、コスト削減目的の国外投資は国内投資の削減を伴うケースが多いことがうかがわれる。

同じことは国内雇用にも当てはまる。国内雇用の拡大を計画する企業の割合から縮小する企業の割合を引いた数 (DI) は回答企業全体でマイナス 13 ポイントだった。コスト削減目的で国外投資を計画する企業ではこれがマイナス 32 ポイントと極端に高く、コスト圧縮のしわ寄せが従業員に及んでいることが分かる。

次ページに続く⇒

新規市場開拓目的の国外投資を計画する企業と販売・顧客サービスのための国外投資を計画する企業では同DIがともにプラスマイナス0ポイントだった。これらの企業では国外事業の強化が国内雇用の強化につながる事が多く、前年

はそれぞれプラス13ポイント、プラス23ポイントに達していた。今年プラマイゼロに低下したのは、景気低迷や地政学対立を踏まえ新規雇用に慎重な企業が増えているためとみられる。

コスト削減目的で国外投資を計

画する企業では国内のエネルギー・原料高を事業のリスク要因とする回答が73%に達した。国内の人件費でも同63%と高い。

<SC49651>

グリーン水素の二重オークション カナダも助成資金拠出へ、2国間協定の枠組みで

国外から輸入したグリーン水素とその誘導体を欧州連合(EU)域内の需要家に適切な価格で販売するためにドイツが準備を進める「二重オークションモデル」という助成の枠組みにカナダが参加する方向だ。ドイツのハーベック経済・気候相とカナダのジョナサン・ウィルキンソン天然資源相は18日、同助成の資金を分担する覚書に調印した。

両国政府は2022年8月、水素分野の協力協定(カナダ・ドイツ水素アライアンス)を締結した。再生可能エネルギー電力で製造するグリーン水素の国際市場立ち上げを加速させることが狙い。カナダ産のグリーン水素とその誘導体を25年からドイツに輸出することに

なっている。

今回の覚書締結はこの枠組みに基づくもの。独港湾都市ハンブルクで両国が共同開催した第1回2国間水素需要家会議で調印が行われた。会議ではグリーン水素の生産者と需要家が水素取引実現に向け意見を活発に交換した。

政府の予測によると、ドイツ国内の水素需要は30年に95～130テラワット時(TWh)に達し、その後、さらに拡大していく。ドイツはグリーン水素の生産に必要な太陽光・風力資源が潤沢でないことから、需要の半分以上を輸入で賄う見通しだ。

ただ、グリーン水素は化石燃料に比べ価格が割高であるため、ユーザー企業は国の支援がなけ

れば製品競争力を維持できない。政府はこの事情を踏まえ、二重オークションモデルを導入する。これは水素・誘導体の調達と販売でともに入札を実施するというものだ。

調達入札ではグリーン水素と、アンモニアなどの誘導体をそれぞれ1社から購入する。提示額が最も低い応札者が落札する。契約期間が長く設定されることから、落札者は事業計画を立てやすくなり安定供給につながる。

販売入札では提示額が最も高い応札者が落札する。販売価格は調達価格を下回る見通しのため、差額を補助金で埋め合わせる。

カナダはこの埋め合わせ資金をドイツと共同で拠出する。独経済・気候省によると、両国は4億ユーロを折半で負担するという。

<SC49652>

緊急時のガス融通で 独伊スイスが協定

ドイツ政府は13日の閣議で、イタリア、スイスと緊急時に天然ガスを融通する協定を締結することを了承した。欧州連合(EU)法に基づく措置で、3カ国の担当相が18～24日の週に調印を行う予定となっている。

EUでは天然ガスの安定供給を確保するために加盟国間の協力を強化する規則(SoS規則)が2017年に成立した。加盟国は深刻なガス不足が起きた場合に相互融通する2国間協定の締結を義務付けられている。ドイツはデンマークと20年12月、オーストリアと21年12月にそれぞれ協定を結んだ。

今回さらにイタリアと協定を締結する。ただ、独伊両国は国境を接しておらず、ガスを融通するためには非EU加盟国スイスをトランジットする必要があることから、スイスを含む3カ国が協定を結ぶ。

<SC49653>

AI包括的規制案を欧州議会が可決 EU加盟国の承認を経て正式成立へ

欧州議会は13日の本会議で、主要国・地域で初となる人工知能(AI)の利用に関する包括的な「AI 規制法案」の最終案を圧倒的賛成多数で可決した。欧州連合(EU)加盟国の承認を経て、正式成立となる。

同規制は社会や市民生活、経済に大きな影響を及ぼすAIを基本的人権などを守りながら適正に活用していく環境を整備するのが狙い。欧州委が2021年4月に原案を発表していた。

最終案では、基本的人権、民主主

義、生活への影響に基づき、AI利用がもたらすリスクを「容認できないリスク」「高リスク」「限定的なリスク」「最小限のリスク」の4段階に分類し、それぞれに規制を設ける。

「容認できない」は政府によるAIを用いた個人の信用度の格付け(ソーシャルスコアリング)、職場での感情認識、法執行を目的とした公共の場でのリアルタイムの顔認証などが該当し、こうしたシステムや技術の利用は原則として禁

止される。

「高リスク」は重要インフラや企業の採用面接、医療、出入国審査などで用いられるAIシステムが対象。リスク軽減対策や、利用履歴を当局がチェックできるようにするためデータを保存することなどを求められる。加盟国の当局による事前審査も義務付けられる。

「限定的」では、言語分野でAI技術を利用する「チャットボット」などが対象で、自動応答プログラムでAIが利用されていることを明示することを義務付ける。生成AIが作ったコンテンツや、人物の動画や音声などを人工的に合成する

「ディープフェイク」によるコンテンツについて、その旨を明示することも求められる。

「最小限」に分類されるのは大多数のAIシステムで、既存のルールを満たしていれば新たな対応は必要ない。

防衛、研究開発のためのAI利用や、個人が非営利目的で利用する場合は規制の対象外となる。規制に違反した事業者は罰金が科される。罰金額は最大で3,500万ユーロ、または全世界の売上高の7%のどちらか高い方となる。欧州委が新機関「AIオフィス」を設置し、順守や開発動向を監督する。

同規制案をめぐるのは、欧州委の原案発表後にチャットGPTに代表される生成AIの普及が広がったことや、欧州委・加盟国と欧州議会の間でどこまで厳しく規制するか意見が異なったため、調整が難航していた。

大きな焦点となったのは、法執行を目的とした公共の場での顔認証での利用。欧州議会が慎重だった。最終的に、犯人逮捕やテロの未然防止など重要事態への対応に必要な場合限って、厳しい条件付きで利用を認める妥協案がまとまった。

また、生成AIなどに加え、あらゆる課題を人間以上の能力でこな

す「汎用AI」も規制対象に加えることになった。問題が起きたときに社会的影響が大きい汎用AIには、より厳しいルールを適用する。チャットGPTや汎用AIなどの基盤モデルが市場に投入される前に、透明性に関する義務を順守することも求める。

最終案はEUの欧州委員会と加盟国、欧州議会が23年12月に合意したもの。欧州議会は同案を全面的に受け入れた。加盟国も5月に承認する見通し。25年に発効し、26年に適用が開始される見込みだ。一部については先行して適用される。

<SC49655>

EUが「重要原材料法案」で最終合意

EU加盟国は18日、重要鉱物資源の域内調達を促進する「重要原材料法案」について最終合意した。これによって、EU内の年間消費量の少なくとも10%を域内で採掘することを柱とする同法案が成立した。

同法案は電気自動車(EV)やハイ

テク機器などに使われるレアアース(希土類)やレアメタル(希少金属)、リチウム、銅、ニッケルなどの鉱物資源の調達で、「脱中国依存」を図るのが狙い。欧州委が2023年に発表していた。

最終案は34種類の重要鉱物、17種類の戦略的な重要鉱物について、30年までにEUでの年間消費量

の10%以上を域内で採掘、40%以上を加工、25%以上を再利用するという内容。許認可手続きを採掘で原則27カ月以内、再利用と加工で同15カ月以内に終えることなども盛り込まれた。

<SC49654>

**卸売物価11カ月連続低下
2月は前年同月比-3%に**

ドイツ連邦統計局が13日に発表した2月の卸売物価指数（2015年＝100）は前年同月比3.0%減の130.9（2015年＝100）となり、11カ月連続で低下した。

全体を最も強く押し下げたのは

これまで同様、石油製品で、前年同月を3.5%下回った。石油製品の下落は12カ月連続。このほか、穀物・葉たばこ・種子・飼料（-20.8%）、化学品（-15.0%）、鉱石・金属（-14.4%）、牛乳・乳製品・卵・食用油脂（-6.1%）で下げ幅が大きかった。果物・野菜・じゃがいも

（+7.3%）、飲料（+5.1%）、たばこ製品（+5.0%）は大きく上昇した。

卸売物価指数は前月比では0.1%減となり、2カ月ぶりに低下した。石油製品は0.3%増となり、上昇へと転じた。

<SC49656>

ゲシェフト フューラー の 豆知識

事業所委の会議、事前警告 による参加妨害は違法

従業員の社内代表機関である事業所委員会（Betriebsrat）の会議にメンバーが参加することを雇用主が事前の警告などを通して妨げようとすることは違法である――。デュッセルドルフ州労働裁判所は

昨年8月、そんな決定（訴訟番号：12 TaBV 18／23）を下した。今回はこれを取り上げてみる。

裁判はゴッホ市にある食品加工会社の事業所委員会が同社を相手取って起こしたもの。原告は2022年10月19日の定例会議に食品労組 NGG の代表と弁護士をそれぞれ1人、招待することを決議したが、両人の日程が合わなかったため、21日9時に特別会議を開いて招待することにした。

これに対し会社の人事担当者は、事業所委のメンバーに就業免除を認めないと通告。これを無視して特別会議に参加した場合はその分の給与を差し引くほか、処分を下すと警告した。

メンバーがこれを無視して参加

すると、給与が減額された。そうしたのもめ事がその後も続いたことから、原告は事業所委の活動妨害を禁止した事業所体制法（BetrVG）78条の規定に基づき差し止め訴訟を起こした。

二審のデュッセルドルフ州労裁はこの訴えを認める決定を下した。判決理由で裁判官は、事業所委の会議に参加することはメンバーの義務であり、事前の脅しを通して阻止することは認められないと言い渡した。会社側が事業所委の会議開催を阻止したいのであれば、仮差し止め訴訟など法的な手段を通して行わなければならないと指摘した。

<SC49676>

企業情報

エーオン（エネルギー）―エネ輸送網強化、今後5年で340億ユーロ投資―

エネルギー大手の独エーオンは13日、エネルギーのグリーン化に絡み2024～28年の5年間で欧州に総額420億ユーロを投資する計画を明らかにした。23～27年5カ年計画（同330億ユーロ）からは27%の増額となる。投資の中心は配電網やガスパイプラインなどのエネルギー輸送網で、全体の8割に当た

る340億ユーロに上る。レオンハルト・ビルンバウム社長はエネルギーの電力シフトにより送配電量が増えるだけでなく、地域レベルでの電力需給調整ニーズも高まることなどを踏まえ、「欧州で今必要となっているのは、持続可能で安定的、かつ手ごろな価格のエネルギーのためのインテリジェントな

エネルギーインフラだ」と述べた。

同社は欧州有数のエネルギー輸送事業者で、計9カ国に総延長160万キロメートルの輸送インフラを持つ。ドイツでは国内配電網190万キロのうち70万キロが同社のもので、ガスパイプラインも10万キロに上る。

<SC49657>

パナソニック（電機）―欧州ヒートポンプ事業強化へ―

パナソニックは14日、ヒートポンプ式温水給湯暖房機（A2W）の欧州事業強化方針を発表した。製品の種類をこれまでの戸建て住宅向けから、集合住宅や店舗・オフィスビルなどのライトコマーシャル向けに拡大する。また、エネルギー制御ソリューションの有力企業である独タド（tado）と業務提携し新たなサービスを提供する。

同社はこれまで欧州で、戸建て住宅向けに出力3～16キロワット（kW）のA2Wを販売してきた。9月からは集合住宅やライトコマーシャル向けの製品を新たに投入する。出力は20kW、25kW、30kWの3種類。環境に配慮し、冷媒には自然冷媒を搭載する。同社の従来製品に比べ約30%小型化（出力ベース）されることから、限られたス

ペースでも設置できるという強みもある。まずは9月からチェコ工場で生産。来年にはフランス工場でも生産を開始する。

欧州市場で販売されるA2Wはこれまで戸建て住宅向けが主流だった。今後は集合住宅向けなども需要の拡大が見込まれることから、パナソニックはそれに見合った機種を投入する。

タドは2011年創業のスタートアップ企業。暖房などの空調機器をインターネットに接続するスマートサーモスタットの製造・販売を手がけるほか、モバイルアプリによる遠隔制御やエネルギー消費削減支援サービスを提供している。また、再生可能エネルギー電力の販売も展開し、料金の安い時間帯に電力消費を促すソリューショ

ンを提供している。

パナソニックは今回の業務提携により、自社製A2Wとタドのスマートサーモスタットを連携させ、室外機と室内機の遠隔温度制御を実現する。また、気象予報や顧客の利用状況に基づく機械学習を通じた最適な冷暖房運転を実現するサービスを提供する。さらに、機器の運転に再生エネ電力を低価格で活用する提案を行い、顧客のエネルギーコスト削減、脱炭素化に貢献する。ドイツとイタリアで年内にソリューション提案を開始する予定だ。将来的には、さらなる省エネを可能にする自社製A2W専用ソフトウェアを共同開発することを視野に入れている。

<SC49658>

情報の少ない中東欧やロシア
CIS、トルコの経済動向を
お伝えしています



東欧経済ニュースを読んで
情報を集めよう



SEFE（エネルギー）—UAEから低炭素LNG輸入へ—

独国有エネルギー会社 SEFE は 18 日、アラブ首長国連邦 (UAE) の アブダビ国営石油会社 (ADNOC) から低炭素 LNG (液化天然ガス) の長期供給を受けることで基本合意した。二酸化炭素 (CO₂) 排出量の少ない製法で製造した LNG を 2028 年から 15 年間、輸入する。LNG の調達先を多様化するとともに、サプライチェーン (供給網) で発生する CO₂ の量を低減する狙いだ。

ADNOC はアブダビ首長国のア

ルルwis産業都市で「ルルwis・プロジェクト」という LNG 輸出プラント計画を進めている。同プロジェクトでは天然ガスを LNG 化する際にクリーン電力を用いることから、製造工程での CO₂ 排出量が低減される。液化設備 2 基を 28 年に稼働させる予定。年産能力は計 960 万トンで、ADNOC の LNG 生産能力は 2 倍以上に拡大する。

両社は今回、独・UAE 両国が 22 年に締結した「エネルギー安全保

障・産業アクセレーター協定 (ESIA)」の枠組みで覚書を交わした。今後、詳細を取り決める。実現すればルルwis・プロジェクトの LNG を欧州企業が調達する初のケースとなる。

SEFE はロシア国営ガスプロムの元独子会社で、旧社名はガスプロム・ゲルマニア (GPG)。ロシアのウクライナ進攻を受け 22 年 11 月に国有化された。

<SC49659>

自然電力（エネルギー）—独社との合併2社を完全子会社化—

自然電力は 13 日、ドイツの再生可能エネルギープロジェクト開発会社 JUWI と株式譲渡契約を締結したと発表した。日本の合併会社 2 社を完全子会社化。これまでよりも機動的で柔軟かつ強固な組織を構築し、スピード感を持って事業を推進していく。取引金額は明らかにしていない。

両社は 2013 年、太陽光など再生エネ発電所の開発と EPC (設計・調達・建設) を手がける juwi 自然電力 (JSE) と、太陽光・風力など再生エネ発電所の運営・保守 (O&M) を手がける JUWI 自然電力オペレーション (JSEO) を設立した。JSE は折半出資で、JSEO は自然電力が

70%、JUWI が 30% をそれぞれ出資してきた。

JSE が 23 年 6 月までに完工させた太陽光発電所の EPC プロジェクトは計 758.4 メガワット (MW) に上る。JSEO は同 933.0MW の O&M 累積契約実績を積み上げてきた。

自然電力は今回の株式取得により、日本で計 900MW に上る主要プロジェクトパイプラインの拡張を加速させる。企業向け電力購入契約 (CPPA) の成長機会を捉え、急成長する蓄電池事業でプレゼンスを強化する意向だ。

自然電力の代表取締役 3 人は「2012 年から 10 年以上共に歩んでくれた JUWI に心より感謝して

おります。JUWI との関係は、2012 年に私たち 3 人が JUWI 本社を訪れたことに遡ります。当時、再エネ発電所の開発実績がほとんどなかった私たちに JUWI が提供してくれた技術やノウハウは、今日の自然電力グループの成長の礎となりました」との声明を出した。

「JUWI から共有いただいた技術やノウハウは、現在日本を含む 9 カ国で再生可能エネルギープロジェクトに取り組んでいる自然電力グループの成長の礎」となったとしている。

<SC49660>

自動車産業のニュースを厳選

大手から中小部品メーカーまで



欧州自動車産業ニュースを読んで
最新技術動向を把握しよう



フォルクスワーゲン（自動車）—2万ユーロのBEV投入を近く最終決定—

独自動車大手フォルクスワーゲン（VW）グループの中核をなすVW乗用車ブランドは、市販価格2万ユーロ程度の低価格電気自動車（BEV）を2027年に市場投入する方向だ。同ブランドのトーマス・シェーファー最高経営責任者（CEO）が14日に明らかにしたもので、数週間以内に最終決定を下す。

BEVは電池コストがかさむこと

から内燃機関車に比べ割高で、需要が想定を下回っている。販売を大幅に伸ばすためには生産コストを引き下げ、低価格化を進める必要があるが、VWのような大衆車は利幅が薄いことからハードルが特に高い。

VW乗用車ブランドでは低価格化に向けまず、2万5,000ユーロ程度のモデルを26年初頭に発売することがすでに決まっている。2万

ユーロのモデルはこれに続くもの。シェーファー氏によると、どのように実現するかを社内の4チームがそれぞれ提案した。その中には外部企業との提携も含まれている。仏競合ルノーのルカ・デメオCEOは先ごろ、VWと共同開発に向けた協議を進めていることを明らかにしており、ルノーとの協業は選択肢の1つとみられる。

<SC49661>

フォルクスワーゲン（自動車）—13カ月ぶり販売減に、中国の春節響く—

自動車大手の独フォルクスワーゲン（VW）が15日に発表した2月のグループ新車販売台数は前年同月比1.1%減の60万5,500台となり、13カ月ぶりに縮小した。国別で最大市場の中国が春節（旧正月）の影響で16.7%減の16万4,000台と振るわず、足を強く引っ張った格好だ。中国を除くアジア太平洋も18.2%減の2万2,200台と大きく落ち込んだ。

そのほかの地域はすべて増加した。足元の欧州は西欧が5.6%増の24万1,500台、東欧が9.9%増の3万9,500台に拡大。アメリカ大陸は北米が1.6%増の7万1,000台、南米が28.5%増の3万7,700台だった。中東・アフリカは20.8%増えて2万9,500台となった。

世界販売をブランド・グループ別でみると、大衆車（ブランド・グ

ループ・コア）は3.0%増の44万6,000台に拡大した。主力のVW乗用車ブランドは1.7%減の29万8,400台に後退したものの、シュコダは9.3%増の7万900台、セアト／クプラは22.0%増の4万3,100台、VW商用車ブランドは13.9%増の3万3,600台へと伸びた。

高級車（ブランド・グループ・プログレッシブ）は13.6%減の10万9,800台で、主力のオーディは13.4%減の10万8,400台。ポルシェを対象とするスポーツ車（ブランド・グループ・スポーツラグジュアリー）は7.2%減って2万2,400台となった。

商用車（ブランド・グループ・トラックス）は2.6%減の2万7,300台へと落ち込んだ。スカニアは24.6%増の9,400台と大きく伸びたものの、MANが4.2%減の8,400台、VW

トラック・アンド・バスが15.7%減の3,500台、ナビスターが20.9%減の6,000台と振るわなかった。

1～2月のグループ販売台数は130万3,700台で、前年同期を6.1%上回った。国別の最大市場である中国が13.8%増の45万5,000台と大きく拡大したことが大きい。そのほかの市場は西欧が1.3%増の46万6,000台、中東欧が9.1%増の7万1,800台、北米が0.3%増の13万7,300台、南米が12.8%増の7万3,200台、中国以外のアジア太平洋が17.3%減の4万3,200台、中東・アフリカが17.2%増の5万7,200台だった。

ブランド・グループ別では大衆車が8.1%増、高級車が1.0%減、スポーツ車が横ばい、商用車が2.1%減となっている。

<SC49666>

経済活動に大きく影響する

EUの政策動向をお伝えしています



欧州経済ウォッチャーを読んで
今のEUを知ろう

FBC

BMW（自動車）—23年純益、反動で35%減少—

自動車大手の独 BMW が 14 日発表した 2023 年 12 月期決算の純利益は 121 億 6,500 万ユーロとなり、前期を 34.5% 下回った。比較対象の 22 年 12 月期は中国合弁 BMW プリアンス・オートモーティブ（BBA）の連結子会社化に伴う評価益で利益が押し上げられてお

り、その反動が出た格好だ。この影響を除いたベースではわずかながら増益を確保した。

本業の利益を示す営業利益（EBIT）は 32.0% 増の 184 億 8,200 万ユーロと好調だった。BBA の連結子会社化や販売増で水準が押し上げられた。売上高は 1,554 億

9,800 万ユーロで、9.0% 増加した。

主力の乗用車部門は売上高が 7.0% 増の 1,322 億 7,700 万ユーロだった。EBIT は 22.1% 増の 129 億 8,100 万ユーロで、売上高営業利益率は前期の 8.6% から 9.8% に上昇した。

<SC49667>

ダイムラー・バスズ（自動車）—収益力強化でDX・GX資金確保へ—

独商用車大手ダイムラー・トラックのバス子会社ダイムラー・バスズ（旧エヴォバス）は 18 日、収益力の強化方針を発表した。DX（デジタルトランスフォーメーション）、GX（グリーントランスフォーメーション）に必要な投資資金を確保し、競争力を長期的に維持できるようにする狙い。電動車の拡充やサービスの強化、製品・事業プロセスのデジタル化を通して実現する。

ダイムラー・バスズの 2022 年の売上高営業利益率（調整済みベース）は 0.4%、23 年は同 4.7% だった。市場環境が良好であればこれを 25 年に 8%、30 年には 9% へと引き上

げる目標を今回、打ち出した。

電動バスの需要は世界的に増えている。欧州連合（EU）ではバス会社が調達する近距離路線バスの 90% 以上を炭素中立走行の車両とすることを義務付けるルールが 30 年に施行される。長距離路線バスと観光バスについても、二酸化炭素（CO₂）排出量が 45% 少ない車両の調達が同年から義務化される。

同社はこうした動向を踏まえて電動車のラインナップ化に取り組んでおり、近距離路線バスでは 18 年に電動モデルの販売を開始した。今後は長距離路線バスで 20 年代半ばに市場投入。観光バスでも

30 年までに発売する計画だ。開発・生産コストを削減するため、ダイムラー・トラックの商用車と電動ドライブトレイン、その他の部品・技術の共有化を図る。

サービスでは 3D プリント技術を活用して交換部品の供給を迅速化したり、電動車向けインフラを一手に提供する能力を強化する。また、デジタル分析ツールや人工知能（AI）をベースとするサービスを提供していく。20 年代半ばからは無線通信を通してソフトウェアを自動更新できる OTA 対応車を市場投入する計画だ。

<SC49662>

ベバスト（自動車部品）—大規模な人員削減へ—

自動車部品大手の独ベバストは 14 日、コスト削減方針を明らかにした。需要の低迷とコストの拡大を受けた措置で、すべての地域・分野を対象に現在、キャパシティと構造の見直しを進めている。ホルガー・エンゲルマン社長は「2 ケタのパーセント台の人員削減はおそらく避けられない」見通しを明らかにした。数週間以内に計画の詳細を発表する。

自動車部品業界を取り巻く環境は 2023 年に大幅に悪化した。需要が減少しているうえ、値下げ圧力が高まっているためだ。主要市場・中国の状況は特に厳しく、ベバストはすでに昨年、現地の生産能力を縮小。昨秋には全世界で新規採用を見合わせることを決めた。経営資源をルーフシステムと電池システムの 2 分野に絞り込む意向で、今年 2 月には充電ソリューション

事業の過半数資本を米投資会社トランサム・キャピタル・グループに売却することで合意した。

ベバストの従業員数は昨年末時点で 1 万 6,600 人だった。エンゲルマン氏の発言をもとに計算すると、少なくとも 1,600 人以上を整理することになる。

<SC49663>

ティッセングループ（複合企業）—軍用船子会社を投資会社に売却か—

独複合企業ティッセングループは19日、軍用船子会社ティッセングループ・マリン・システムズ（TKMS）の資本の部分売却に向け米投資会社カーライルと交渉していると発表した。今後、資産査定（デューデリジェンス）を行う。ティッセンはTKMSの放出に向け新規株式公開（IPO）など様々な選択肢を視野に入れており、カーライルとの取引が成立するかどうかは未定。TKMSには国が出資する方向でドイツ政府と交渉していることも明らかにした。

ティッセンは昨年3月の監査役会でTKMSの分離を決議し、同子会社の売却に向けた準備を開始した。カーライルが買収に関心を示していることは昨年時点で報じられていた。メディア報道によると、カーライルはTKMSを債務込みで15億ユーロと評価したうえで、過半数資本を取得する考えという。

ロシアのウクライナ進攻など地政学リスクの高まりを受け、軍用品の需要は世界的に拡大が続くと見込まれている。TKMSのオリファー・ブルクハルト社長はこの

事情を踏まえ、投資会社への過半数株売却は独・欧州業界再編の第一歩に過ぎないだろうと述べた。

潜水艦の建造は長期プロジェクトであることから、発注元は潜水艦が確実に納入されることの保証を要求する。これまでは親会社ティッセンがこの保証を行ってきた。TKMSが投資会社の子会社になると、銀行からプロジェクト資金の保証を得ることが難しくなるため、国の資本参加が検討されているようだ。

<SC49664>

三井化学（化学）—独社と撥水コーティング用プリンターを共同開発—

三井化学は14日、傘下企業の独コーテック（COTEC）が産業用インクジェットシステムの独CADISエンジニアリングと、車載ディスプレイパネル向け撥水性コーティング用のデジタルプリンターを共同開発したと発表した。撥水コーティングを常圧環境下で連続的に行える新しい技術で、生産性向上などの効果が見込まれる。すでに欧州の大手自動車部品サプライヤーで実証検証を終えており、今後は本格採用

に向け取り組む意向だ。

車載ディスプレイ向けの撥水コーティングでは現在、真空蒸着装置などを用いたバッチ生産が主流となっている。両社が開発したプリンターは、コーテックの超撥水コーティング技術とCADISのデジタルプリント機器の知見を組み合わせることで、常圧環境での連続生産を実現。コーティング工程がスピードアップすることから、車載ディスプレイの生産性が向上する。

インクジェット技術により、大型ないし形状が複雑なディスプレイへの高精度なコーティングが可能になることも強みだ。このほか、◇常圧環境下での印刷によりエネルギー消費量が低減される◇コーティング範囲を無駄なく制御する技術により、材料消費量の削減、洗浄や研磨工程の省略などコスト削減と環境負荷の低減につながる—というメリットがある。

<SC49665>

ヴォノヴィア（不動産）—純赤字10倍に拡大—

賃貸住宅最大手ヴォノヴィアが14日に発表した2023年12月期決算の純損益は67億5,620万ユーロの赤字だった。住宅不況を受け保有住宅の評価額を前期末の947億ユーロから839億ユーロへと大

幅に引き下げたことが響いた格好。赤字額は前期（6億6,940万ユーロ）の約10倍に膨らんだ。

営業利益（EBITDA、調整済み）は26億5,240万ユーロで4.0%減少。売上高は7.5%減の51億5,110

万ユーロだった。

24年12月期は営業利益（同）で25億5,000万～26億5,000万ユーロを見込む。

<SC49668>

スポーツシェック（小売）―伊チサルファが買収―

イタリアのスポーツ用品小売大手チサルファ・スポーツは13日、経営破たんした独同業スポーツシェックの競売入札で落札に成功したと発表した。チサルファは昨年秋にも独同業フォスヴィンケルを買収しており、シナジー効果を引き出す考えだ。スポーツシェックの買収金額は非公開。カルテル当局の承認などを経て買収手続き

が6月に完了すると見込んでいる。

スポーツシェックは1946年の創業。ドイツ国内で34店舗とネット通販を展開している。2020年にオーストリアの投資会社シグナ・ホールディングの傘下に入ったが、シグナの経営破たんを受け昨年11月に連鎖倒産した。

チサルファはイタリア最大のスポーツ用品販売事業者で、150店舗

を展開している。ドイツにもフォスヴィンケルを通して50店舗を持つ。スポーツシェックを取得することで店舗数は約200カ所に拡大し、規模の効果を期待できる。スポーツシェックのブランドと全店舗を継続する意向だ。

<SC49669>

ヨーロッパで

ビジネスパートナーを探したい…



>>> FBCにお任せください！

私たちはロングリスト・ショートリスト調査を通して
みなさまの欧州戦略を強力にサポートしています
欧州に攻め込むための最新の営業リストを作成します

経済・産業情報

インフレ調整金を被用者の8割が受給 平均2761ユーロ、製造業の受給率96.1%

労使協定の適用対象となる被用者の77.9%がインフレ調整一時金をすでに受給したか、今後受給することが、連邦統計局の発表で分かった。

同調整金はエネルギー価格の高騰に伴う物価の大幅上昇を受けて2022年10月に時限導入されたもので、24年末まで受給できる。3,000ユーロの上限以内であれば、

税金と社会保険料が賦課されない。インフレによる購買力低下の相殺をすべて賃上げで行うと賃金・物価スパイラルの負の循環に陥り、高インフレに歯止めがかからなくなるリスクがあることから、政府はそうした事態を避けるために導入した。

支給額は平均2,761ユーロに上った。最も額が大きかった部門

は行政・防衛・社会保険で3,000ユーロに達した。これに教育が2,999ユーロ、文化・余暇・娯楽が2,987ユーロ、水道／下水・廃棄物処理が2,943ユーロで続いた。最低は建設で1,104ユーロ。農林水産業も1,689ユーロにとどまった。

受給率が最も高かったのは製造業で96.1%に上った。2位は水道／下水・廃棄物処理で96.0%だった。最低は宿泊・飲食の6.3%。「その他の経済サービス」と流通もそれぞれ11.2%、24.4%と低い。

インフレ調整一時金統計*		
部門	労使協定の適用対象となる被用者に占める受給者の割合(%)	平均受給額(ユーロ)
ドイツ全体	77.9	2,761
農林水産業	64.2	1,689
鉱業	92.4	2,085
製造業	96.1	2,780
エネルギー	88.9	2,878
水道／下水・廃棄物処理	96.0	2,943
建設	86.0	1,104
流通・自動車整備	24.4	2,492
運輸・倉庫	60.4	2,698
宿泊・飲食	6.3	2,805
情報・通信	70.5	2,459
金融・保険	52.2	2,510
不動産	92.3	2,106
科学・技術サービス	78.8	2,788
その他の経済サービス	11.2	1,896
行政・防衛・社会保険	92.1	3,000
教育	90.4	2,999
ヘルスケア・福祉	90.6	2,853
芸術・娯楽・余暇	90.2	2,987
その他のサービス	80.6	2,881
* 2024年3月6日時点のデータ		出所: 連邦統計局

<SC49670>

23年のCO₂排出量10%減少 30年目標達成に大きく前進

ドイツ連邦環境庁（UBA）が15日に発表した同国の2023年の温室効果ガス排出量は二酸化炭素（CO₂）換算ベースで前年比10.1%減の6億7,400万トンとなり、1990年以降で最大の下げ幅を記録した。ディルク・メスナー長官は、30年までに1990年比で65%削減するとした法定目標を達成できるとの見方を示した。前年の発表では削減のスピードを大幅にアップしないと目標を達成できないとしていたが、評価が大幅に改善した。

減少率が最も大きかったセクターはエネルギー業で、20.1%減の2億500万トンに縮小した。景気の低迷とエネルギー価格の高止まりで需要が減少したうえ、再生可能

エネルギーの拡張が進んだことから、化石燃料の使用量が減少。天然ガスなどに比べCO₂排出量が多い石炭・褐炭発電は大幅に減った。

製造業も7.7%減の1億5,500万トンと減少幅が大きかった。景気低迷と生産コストの上昇を受け生産が減少したことが背景にある。連邦気候保護法（KSG）で定められた23年の排出目標値に比べ1,800万トン少なく、合格点を獲得している。

建造物も7.5%減の1億200万トンに低下した。エネルギー価格の高止まり、暖冬で暖房需要が小さかったことが大きい。ヒートポンプ暖房の設置が拡大したこともプラスに働いた。KSGの目標値には

120万トン届かなかった。

交通部門は1.2%減の1億4,600万トンだった。景気低迷でトラック輸送が減少したことが反映されている。乗用車の利用はやや増えた。電動車の登録台数は増えたものの、相殺効果はまだ小さい。KSGの目標値を1,300万トンも上回っており、メスナー氏は社用車の税優遇をはじめとする気候に有害な助成策の廃止など適切な措置を速やかに行う必要があると強調した。

UBAの予測によると、ドイツの排出量は30年には4億3,800万トンに減少する。KSGの目標値に比べ4,700万トン少なく、目標をクリアできる見通しだ。ただ、交通と建造物セクターでは達成できないとみている。

<SC49671>

多孔質岩石層への水素貯蔵プロジェクト 第1フェーズで素材腐食などの問題なし

エネルギー大手の独ユニパーは13日、多孔質岩石層の天然ガス貯蔵施設に水素を貯蔵する研究プロジェクトの第1フェーズが成功裏に終了したことを明らかにした。多孔質岩石層が水素貯蔵に適しているとの最終結論を出すことは現時点でできないとしながらも、見通しは明るいとしている。

同社を中心とする5社は独南部のウンターライト村ビーアヴァングにあるユニパーの天然ガス貯蔵施設で「ハイストレージ（HyStorage）」という名のプロジェクトを行っている。天然ガスに水素を混ぜたメタ

ン・水素混合ガスを多孔質岩石層の旧天然ガス貯蔵施設に貯蔵。機械的な設備と多孔質岩貯蔵施設への影響を調べる。注入と抽出を通してガスの質が変化するかどうかも調査する。

第1フェーズでは水素混合率5%のガスを注入・抽出して影響や成果を調べた。同社によると、注入した水素の約90%と取り出すことができた。また、貯蔵施設内での水素の分布に偏りはなく、貯蔵施設のパフォーマンスにも変化がなかった。水素による素材の腐食は差し当たり確認されていない。

今後は第2フェーズと第3フェーズを行い、2025年にプロジェクトを終了する予定。第2フェーズでは水素混合率を10%、第3フェーズでは同25%へと引き上げる。ともに3カ月の貯蔵期間を計画している。

製造業や交通での水素利用が今後、本格化すると、貯蔵ニーズが高まる。需給の調整で大きな役割を果たせるためだ。今回のプロジェクトでポジティブな結果が出れば、独南部の多孔質岩石層だけでなく、フランスからオーストリアにまたがるアルプス北部のモラッセ盆地全域で水素貯蔵の将来性が高まるという。

<SC49672>

化学業界23年第4四半期も低調 コストの川下転嫁は難しく

独化学工業会 (VCI) が 15 日に発表した同国化学・製薬業界の 2023 年第 4 四半期の生産高は営業日数・季節調整ベースで前期を 2.3% 下回った。新規受注の減少で化学部門の低迷が長期化している。VCI は声明で「エネルギー・原料市場は緊迫が続いている。延々と続く受注不足はドイツの割高な生産コストと複合して事業を圧迫している」と窮状を訴えた。工場稼働率は前期 (75.7%) を 1.5 ポイント上回る 77.2% に上昇したものの、通常の水

準 (83 ~ 85%) を依然として大幅に割り込んでいる。

出荷価格は 0.1% 下落した。競争が厳しいことから、高止まりしているエネルギー・原料価格を川下に転嫁しにくい状況が続いている。

売上高も 1.0% 減の 513 億ユーロに落ち込んだ。国内が 0.1%、国外が 1.4% の幅で縮小している。製薬は 0.3% 増えており、製薬を除いたベースでは減少幅が 1.4% だった。

23 年の生産高は前年を 7.9% 下

回った。製薬を除いたベースでは減少幅が 10.4% と 2 ケタ台に達している。出荷価格は 0.4% 低下。売上高は 12.2% 減の 2,293 億ユーロだった。国内が 16.3% 減の 852 億ユーロ、国外が 9.6% 減の 1,441 億ユーロとなっている。

24 年については生産高で横ばい、売上高で 3.5% 減を見込んでいる。

ヴォルフガング・グローセエントループ専務理事によると、受注が増加する企業が 2 月以降、少数ながら出始めてきた。特に国外受注で増加報告が目につくようになってきたという。

表1

独化学業界 輸出入変動率 地域別 2023年第4四半期 営業日数・季節調整値			
地域	全体に占める割合	前期比	前年同期比
EU27	52.0%	0.6%	-10.8%
その他の欧州諸国	15.5%	-0.8%	-11.6%
北米	12.6%	-4.3%	-3.7%
ラテンアメリカ	2.5%	-9.5%	-20.3%
アジア	14.8%	-6.2%	-8.9%
アフリカ	1.7%	4.6%	0.5%
オーストラリア	0.9%	25.2%	2.9%
国外全体	100%	-1.4%	-9.6%

出所: 独化学工業会

表2

独化学業界の生産高と出荷価格の変動率 2023年第4四半期					
部門	生産高に占める割合	生産高 (営業日数・季節調整値)		出荷価格	
		前期比	前年同期比	前期比	前年同期比
無機基礎化学品	10%	2.4%	14.5%	-1.1%	-19.6%
石油化学品と誘導体	22%	3.2%	6.9%	0.5%	-4.5%
ポリマー	13%	0.6%	-4.4%	-1.2%	-9.8%
ファイン・スペシャル化学品	20%	-3.5%	-4.0%	0.4%	-2.0%
洗剤・ボディケア用品	7%	1.6%	-3.8%	-0.6%	0.0%
医薬品	30%	-3.3%	-12.4%	0.5%	4.6%
医薬品を除く化学	70%	-1.7%	1.2%	-0.2%	-7.0%
全体	100%	-2.3%	-4.3%	-0.1%	-5.3%

出所: 独化学工業会

表3

独化学業界売上変動率 2023年第4四半期 (営業日数・季節調整値)							
部門	生産高に占める割合	全体		国内		国外	
		前期比	前年同期比	前期比	前年同期比	前期比	前年同期比
無機基礎化学品	10%	-3.1%	-26.9%	-2.3%	-34.5%	-3.1%	-21.6%
石油化学品と誘導体	22%	1.3%	-18.8%	2.9%	-19.3%	0.2%	-18.3%
ポリマー	13%	1.4%	-14.4%	-1.8%	-19.3%	3.0%	-11.7%
ファイン・スペシャル化学品	20%	-3.8%	-10.4%	-5.0%	-10.3%	-3.1%	-10.5%
洗剤・ボディケア用品	7%	2.0%	-7.3%	-2.5%	-4.9%	-1.4%	-10.1%
医薬品	30%	0.3%	0.1%	8.5%	-8.9%	-3.1%	4.9%
医薬品を除く化学	70%	-1.4%	-15.4%	-2.3%	-17.4%	-0.8%	-14.2%
全体	100%	-1.0%	-11.9%	-0.1%	-15.6%	-1.4%	-9.6%

出所: 独化学工業会

<SC49674>

インフィニオンが中国社を提訴 GaN技術の特許侵害で差し止め請求

半導体大手の独インフィニオンは14日、中国の半導体材料メーカー英諾賽科(イノサイエンス・テクノロジー)がGaN(窒化ガリウム)技術の米国特許を侵害しているとしてカリフォルニア州北部地区連邦地方裁判所に提訴したことを明らかにした。自社開発したGaNパワー半導体のコア技術を巡るもので、差し止めに請求している。

問題となっている特許は自動車、データセンター、太陽光発電、駆動装置、娯楽家電など幅広い分野で使用されるGaN半導体の主要な技術。同技術を用いた製品の生産、使用、販売、米国への輸出を通してイノサイエンスがインフィニオンの特許を侵害していると主張している。

インフィニオンのパワー&センサー・システムズ(PSS)部門を統

括するアダム・ホワイト氏は、「インフィニオンは約20年に渡るGaNの経験を通して、各最終製品の最高の性能に必要な卓越した品質を保証できる。我々は当社の知財権を精力的に保護し、すべての顧客と最終消費者のために行動する」と発言。差し止め訴訟を通して特許侵害による売り上げの減少だけでなく、顧客企業と消費者が不利益を被ることも防ぐ意向を表明した。

<SC49673>

電機業界の景況感3カ月連続改善 新規受注高は7カ月連続で減少

独電気電子工業会(ZVEI)が12日に発表した同国電機業界の2月の業界景況感指数(DI)は前月のマイナス7.8ポイントからマイナス6.9ポイントへと上昇し、3カ月連続で改善した。今後6カ月の見通しを示す期待指数がマイナス12.0ポイントからマイナス9.3ポイントへと大きく上昇したため。現状判断を示す指数はマイナス3.5ポイントからマイナス4.5ポイントへとやや落ち込んだ。

輸出期待指数(DI、先行き3カ月)も前月の0.7ポイントから4.5ポイントに上昇し、3カ月連続で改善した。輸出増を見込む企業が輸出減を見込む企業を前月同様、上回っている。

1月の新規受注高は前年同月比

10.8%減となり、7カ月連続で後退した。国内が7.1%、国外が13.6%減少。国外の内訳はユーロ圏(ドイツを除く)が9.4%減、ユーロ圏外が16.0%減だった。

23年の新規受注は当初の前年比2.2%減から1.9%減に上昇修正された。ユーロ圏が9.3%減(修正なし)、ユーロ圏外が4.0%減(当初4.2%減)、国内が3.0%増(同2.6%増)となっている。

1月の業界生産高は物価調整後の実質で前年同月を5.0%下回った。比較対象の2023年1月は大きく伸びており、そのベース効果で下げ幅が膨らんだ。23年は当初の前年比0.4%増から横ばいに引き下げられた。

2月の生産計画(先行き3カ月)

で「拡大」を見込む企業の割合から「縮小」の割合を引いた数(DI)は前月のマイナス0.5ポイントからマイナス8.0ポイントへと悪化した。生産減を予想する企業が生産増予想の企業を上回っている。

1月の業界売上高は前年同月比5.4%減の177億ユーロに落ち込んだ。国内が7.2%、ユーロ圏外が7.1%の幅で後退。ユーロ圏は2.3%増えた。

23年の業界売上高は当初の前年比6.0%増の2,381億ユーロから6.6%増の2,394億ユーロへと上方修正された。内訳は国内が7.3%増の1,151億ユーロ(当初7.2%増の1,150億ユーロ)、ユーロ圏が5.9%増の441億ユーロ(5.8%増の440億ユーロ)、ユーロ圏外が6.1%増の802億ユーロ(4.7%増の791億ユーロ)となっている。

<SC49675>

目で見るドイツの経済・社会

ドイツで開催される主な国際見本市 2024年第2四半期

開催期間	開催都市	見本市名 主要取扱い品 公式サイト	前回開催データ		
			展示スペース (純展示面積 単位:m ²)	出展ブース数 (ドイツ国外からの 参加企業数)	来場者数 (ドイツ国外からの 来場者数)
4月8日 ~ 4月11日	ベルリン	ptc パイプライン見本市 パイプラインおよび機器、チューブ加工、チューブ製造 https://www.pipeline-conference.com	1,382	78 (47)	1,758 (1,328)
4月9日 ~ 4月11日	ニュルンベルク	embedded world 国際組込み技術専門見本市 コンピュータ ハードウェア、ソフトウェア、インターネット https://www.embedded-world.de/	25,392	952 (598)	26,636 (10,834)
4月9日 ~ 4月12日	カールスルーエ	PaintExpo コーティング技術見本市 塗装材料、塗装技術、圧縮空気技術、自動車ラッカー塗装 https://www.paintexpo.de	14,530	424 (185)	9,180 (3,369)
4月9日 ~ 4月11日	ベルリン	DMEA デジタルヘルス国際見本市 病院管理、病院設備、病院用品、手術用品 https://www.dmea.de	14,450	735 (177)	16,000 (1,782)
4月9日 ~ 4月12日	ミュンヘン	ceramitec 国際セラミック技術・原材料見本市 セラミック技術、焼成設備、原材料、関連研究、保管 https://www.ceramitec.com	12,626	340 (193)	9,547 (5,401)
4月9日 ~ 4月12日	ミュンヘン	analytica 国際ラボ・分析・バイオテクノロジー見本市 バイオテクノロジー、バイオ化学、ラボ技術、品質管理 https://www.analytica.de	22,001	882 (399)	26,573 (11,887)
4月11日 ~ 4月14日	ケルン	FIBO 国際フィットネス・ウェルネス・ヘルス産業展 フィットネス器具、スタジオ設備、マッサージ https://www.fibo.com/	48,573	844 (517)	106,146 (25,376)
4月11日 ~ 4月13日	ブレーメン	ジャズ見本市 & フェスティバル 音楽、楽器、音楽出版社 http://www.jazzahead.de	2,293	134 (52)	2,334 (1,463)
4月15日 ~ 4月19日	デュッセルドルフ	wire 国際ワイヤー産業展 ワイヤー、ケーブル、製造・加工技術、制御技術、成形機 https://www.wire.de	52,959	1,061 (832)	25,674 (17,594)
4月15日 ~ 4月19日	デュッセルドルフ	tube 国際配管見本市 配管、製造・加工技術、制御、検査、機械、計測機器 https://www.tube.de	39,592	765 (560)	17,324 (11,880)
4月17日 ~ 4月20日	フリードリヒス ハーフェン	AERO 航空宇宙技術見本市 航空宇宙技術、飛行場建設 https://www.aero-expo.de	51,265	649 (317)	27,200 (12,920)
4月22日 ~ 4月26日	ハノーバー	ハノーバーメッセ 産業技術総合見本市 産業技術全般 https://www.hannovermesse.de	127,061	3,884 (2,578)	127,951 (52,460)
4月23日 ~ 4月26日	ケルン	FAF 塗料・建材国際見本市 塗料、塗装・コーティング技術、天井壁・床材、接着剤 https://www.faf-messe.de	22,177	410 (105)	45,861 (7,137)
4月23日 ~ 4月26日	シュツットガルト	Control 国際品質管理技術見本市 計測器、試験機、分析機器、IT耐久試験機器 https://www.control-messe.de	20,459	586 (203)	21,310 (5,753)

次ページに続く⇒

開催期間	開催都市	見本市名 主要取扱品 公式サイト	前回開催データ		
			展示スペース (純展示面積 単位:m ²)	出展ブース数 (ドイツ国外からの 参加企業数)	来場者数 (ドイツ国外からの 来場者数)
4月23日 ~ 4月26日	フランクフルト	Techtextil 産業用繊維見本市 繊維、不織布、強化繊維、織物、編物 https://www.techtextil.com	31,088	1,147 (814)	22,523 (14,060)
4月23日 ~ 4月26日	フランクフルト	Texprocess 国際産業用繊維縫製機械見本市 衣服機械、刺繍・編上・仕上機械、ミシン、アイロン https://www.texprocess.com	11,620	182 (121)	6,863 (4,731)
4月23日 ~ 4月26日	ケルン	FARBE, AUSBAU&FASSADE 塗料・建材国際見本市 塗料、塗装・コーティング技術、天井壁・床材 https://www.faf-messe.de	22,177	410 (105)	45,861 (7,137)
4月23日 ~ 4月26日	シュツットガルト	Control 国際品質管理技術見本市 計測器、試験機、分析機器、IT耐久試験機器 https://www.control-messe.de	20,459	586 (203)	21,310 (5,753)
4月26日 ~ 4月27日	シュツットガルト	Invest 金融・投資見本市 融資、証券取引所情報サービス、投資 https://www.messe-stuttgart.de/invest/	4,473	124 (25)	12,582 (503)
5月6日 ~ 5月8日	ライプツィヒ	GPEC®法執行と国土安全保障に関する国際展示会 安全、災害対策、防衛技術 http://gpec.de	13,222	503 (174)	7,091 (878)
5月7日 ~ 5月10日	ニュルンベルク	Interzoo 国際ペット用品見本市 ペット用品、ペット、餌、水槽、専門書、乗馬 https://www.interzoo.com	51,008	1,326 (1,046)	27,861 (20,163)
5月9日 ~ 5月12日	フリードリヒス ハーフェン	国際チューニングカー展示会 自動車部品、チューニング、内装 https://www.tuningworld.de	45,334	459 (79)	95,600 (21,018)
5月13日 ~ 5月17日	ミュンヘン	IFAT 水・下水・ゴミ資源産業国際見本市 ゴミ・浄水技術、給水技術、ポンプ https://www.ifat.de	160,109	2,984 (1,520)	118,826 (60,014)
5月14日 ~ 5月16日	カールスルーエ	IT-TRANS 都市交通システム展示会 データ保護、ディスプレイ (LED および LCD) http://www.it-trans.org	6,332	244 (110)	4,286 (1,732)
5月14日 ~ 5月16日	フランクフルト	Optatec 工学技術国際見本市 オプトエレクトロニクス、オプトメカニクス、光学機器 http://www.optatec-messe.de	4,434	249 (120)	3,481 (940)
5月14日 ~ 5月17日	ライプツィヒ	OTワールド 整形外科技術専門見本市 整形外科技術、リハビリ器具、衛生用品、研究開 https://www.ot-world.com/	16,370	434 (220)	16,282 (4,624)
5月14日 ~ 5月17日	シュツットガルト	GrindingHub 研削技術国際見本市 金属加工、溶接技術 https://www.grindinghub.de/	17,814	376 (165)	9,573 (3,351)
5月28日 ~ 6月7日	デュッセルドルフ	drupa 国際印刷・メディア産業展 印刷機、製本機、DTP、クリアファイル、 コーティング技術 http://www.drupa.de	157,911	1,823 (1,302)	260,165 (195,988)
6月3日 ~ 6月5日	ミュンヘン	ISPO 国際スポーツ用品展示会 スノースポーツ、アウトドア各種用品、スポーツ用品 https://www.ispo.com/outdoor	14,839	666 (558)	8,389 (5,295)

次ページに続く⇒

開催期間	開催都市	見本市名 主要取扱品 公式サイト	前回開催データ		
			展示スペース (純展示面積 単位:m ²)	出展ブース数 (ドイツ国外からの 参加企業数)	来場者数 (ドイツ国外からの 来場者数)
6月4日 ~ 6月5日	エッセン	Cable Car World ケーブル鉄道、道路計画、インフラ、旅客サービス https://www.cablecarworld.de/	606	31 (19)	500 (95)
6月4日 ~ 6月6日	ケルン	The Tire Cologne タイヤ国際見本市 カー用品、タイヤサービス https://www.thetire-cologne.de/	14,964	198 (121)	11,834 (6,853)
6月5日 ~ 6月9日	ベルリン	ILA ベルリン 航空宇宙産業国際見本市 航空機、ヘリコプター、宇宙技術、防衛技術、 航空宇宙技術 https://www.ila-berlin.de/	28,802	539 (167)	72,000 (21,600)
6月10日 ~ 6月14日	フランクフルト	ACHEMA プロセス産業見本市 ラボラトリー、分析機器、グリーンイノベーション https://www.achema.de/en/the-achema/overview		2,211 (1,169)	70,007 (32,483)
6月11日 ~ 6月13日	ニュルンベルク	SMT 国際エレクトロニクス・パッケージング見本市 チップマウンター、検査・測定機器、CAE https://smt.mesago.com/events/de.html	8,545	190 (60)	8,387 (2,864)
6月11日 ~ 6月13日	ニュルンベルク	PCIM パワーエレクトロニクス展示会 半導体、磁気材料、再生可能エネルギー、センサー https://pcim.mesago.com/events/de.html	18,332	507 (288)	16,550 (6,893)
6月11日 ~ 6月13日	ニュルンベルク	SENSOR+TEST 試験技術の国際見本市 センサー、センサーシステム、センサー技術 http://www.sensor-test.com	5,718	338 (133)	5,138 (1,377)
6月11日 ~ 6月13日	エルヴィッテ	DLG-Feldtage 植物生産、種子、肥料、植物保護 https://www.dlg-feldtage.de/	95,833	375 (66)	14,410 (2,224)
6月16日 ~ 6月18日	ケルン	spoga+gafa ガーデン見本市 グリル、庭の家具、レジャー、植物、園芸用品 http://www.spogagafa.de	93,501	1,842 (1,682)	27,675 (19,125)
6月18日 ~ 6月20日	シュツットガルト	MedtecLIVE 医療技術見本市 設計、研究開発、IT サービス、材料、コンポーネント https://www.medteclive.com/	6,372	399 (114)	3,842 (855)
6月19日 ~ 6月21日	ミュンヘン	EM-Power Europe エネルギー管理統合ソリューション見本市 省エネルギー、エネルギー生成、エネルギー回収 https://www.em-power.eu/home	4,981	180 (92)	26,846 (14,121)
6月19日 ~ 6月21日	ミュンヘン	Power2Drive 充電インフラとe-モビリティの国際展示会 バス、自動車製造、カーアクセサリ、建設計画 http://www.powertodrive.de	9,207	261 (150)	33,051 (17,308)
6月19日 ~ 6月21日	ミュンヘン	ees Europe バッテリー、エネルギー貯蔵システム展示会 代替エネルギー、電池、燃料電池、化学産業 http://www.ees-europe.com	26,720	650 (497)	51,018 (28,073)
6月19日 ~ 6月21日	ミュンヘン	The smarter E Europe 新エネルギーソリューション 代替エネルギー、ギアおよび駆動技術、バッテリー http://www.TheSmarterE.de	110,482	2,466 (1,707)	106,189 (56,168)
6月19日 ~ 6月22日	ミュンヘン	Intersolar Europe 太陽光産業展示会 代替エネルギー、プラントエンジニアリング http://www.intersolar.de	69,575	1,375 (968)	94,299 (49,613)

次ページに続く⇒

開催期間	開催都市	見本市名 主要取扱い品 公式サイト	前回開催データ		
			展示スペース (純展示面積 単位:m ²)	出展ブース数 (ドイツ国外からの 参加企業数)	来場者数 (ドイツ国外からの 来場者数)
6月19日 ~ 6月22日	ニュルンベルク	Stone+tec ニュルンベルク プラントエンジニアリング、建築産業用化学助剤、記念碑デザイン https://www.stone-tec.com/	7,648	211 (91)	9,660 (1,277)
6月19日 ~ 6月20日	デュッセルドルフ	Chemspec Europe 化学ベース、化学工業用機器、化学製品、医薬品 https://www.chemspeceurope.com/	5,306	287 (213)	3,162 (1,918)
6月26日 ~ 6月27日	ニュルンベルク	FeuerTrutz 安全防火国際見本市 ファサード技術、断熱、毛布、ドア、ゲート http://www.feuertrutz-messe.de	6,919	247 (42)	5,617 (422)
6月28日 ~ 6月30日	フリードリヒス ハーフェン	HAM RADIO 国際アマチュア無線見本市 無線機器、CB 無線機器、世界受信セット http://www.hamradio-friedrichshafen.de	4,837	149 (64)	11,100 (5,692)

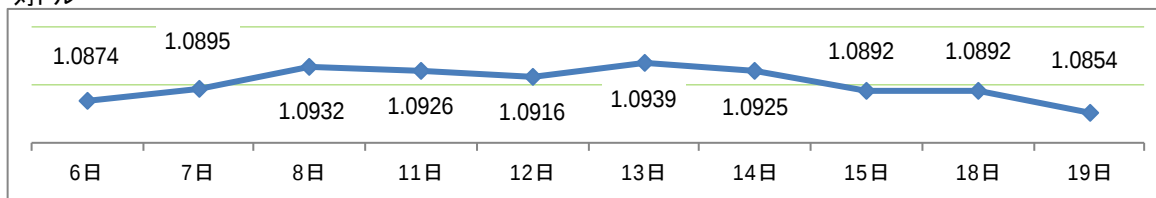
2024年3月11日調べ

<SC49677>

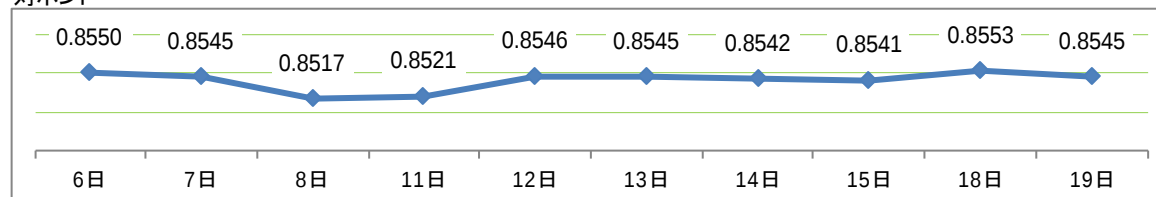
為替・株価・原油 (2024年3月6日～19日)

ユーロ相場

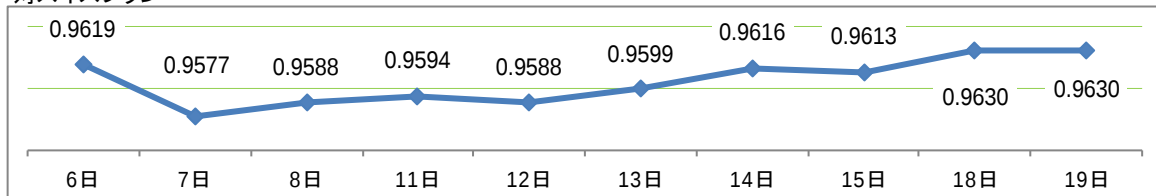
対ドル



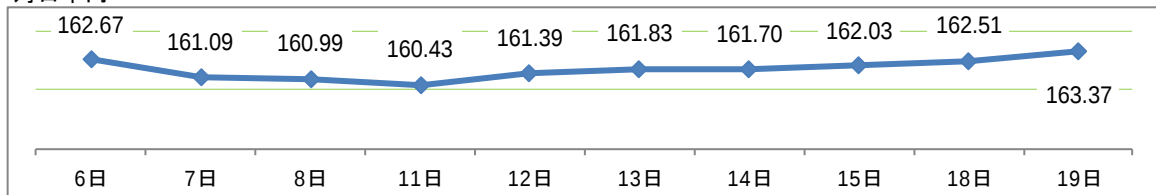
対ポンド



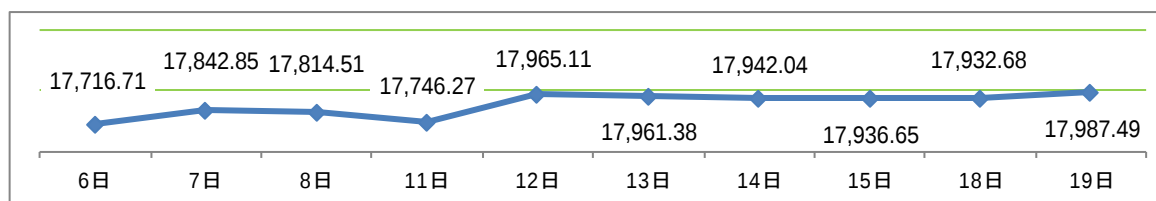
対スイスフラン



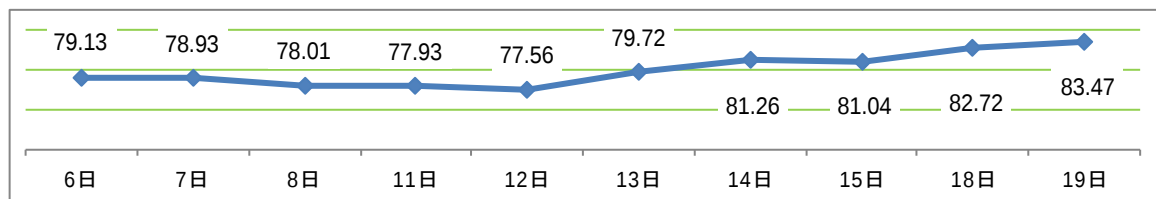
対日本円



DAX40



ブレント原油(先物。1バレル当たり。単位:ドル)



出所: 欧州中央銀行、ドイツ証券取引所、ロンドン国際石油取引所

<SC49678>